



## あか ふたり 赤ちゃんが二人のとき、「へそのお」はどうなっているの

### ふたごの赤ちゃんのへそのおは、それぞれ一つずつ

ふつう、一人の赤ちゃんは、お母さんのおなかの中の「たいばん」と、1本のへそのおでつながっています。

ふたごの赤ちゃんのときも、それぞれの赤ちゃんは、へそのおを1本ずつもっています。お母さんのたいばんが、一つか二つの場合があるのです。

### かあ お母さんのたいばんが、一つするとき

ふたごの赤ちゃんのへそのおは、それぞれ1本ずつで、二人の赤ちゃんはどちらも男か女かで、うりふたつといわれるように、そっくりに生まれます。

### かあ お母さんのたいばんが、二つのとき

ふたごの赤ちゃんが、べつべつのたいばんに、それぞれへそのおでつながっています。この場合は、生まれる赤ちゃんは、男女べつべつのときもあるし、また、にていたり、にいていなかったりする場合もあります。

### なが やく へそのおは、長さ約50センチメートル

お母さんの「たいばん」は、へそのおを通して赤ちゃんに必要な栄養や酸素などを与えたり、赤ちゃんのいらなくなったものを捨てたりする役目をしています。

へそのおは、赤ちゃんが生まれるときは、約50センチメートルの長さで、お母さんからの血液をもらったり、もどしたりする役目をしています。（監修 保志 宏）

